

《聖書の言葉》 マタイによる福音書 7章 13~14節

狭い門から入りなさい。

命に通じる門はなんと狭く、

その道も細いことか。

それを見いだす者は少ない。

一学期を無事終えられることを感謝します。
やさしい道、広い道よりもたとえ困難であっても
私たちを生かしてくださる神が望まれている道に気づき、
歩みを進めていけますように。

保護者の皆様には、常日頃より本校のカトリック教育に際しまして、ご理解・ご協力を
くださり、ありがとうございます。今年度も謹んでよろしくお願ひ申し上げます。

本年度におきましても、カトリック通信「一粒の麦」を通して、本校のカトリック教育
の一端をわかちあって参りたいと存じております。2017年度最初の月号では、1学期
に取り組んだカトリック関係の行事やボランティア活動の内容や生徒の所感、そして夏期
休暇中のボランティア活動などをまとめております。どうぞ目をお通しください。

また、今年度も、日本のカトリック学校の保護者に向けて年3回発行されている「よき
家庭」を配布いたします。こちらも併せてお読みください。

☆カトリック教育

<p>概要 ねらい</p>	<p>本校の創立基盤であるキリスト教に触れ、神の存在を考え、「人がみな、神から愛されている存在」であることを自覚する。「神の愛」を受けて、その感謝の心を隣人に伝えられるように努力する。キリスト教の果たしてきた歴史的役割やキリスト教を基盤とした世界観にも触れる。宗教の授業や様々な行事・活動を通じて、「感謝の心」「支え合う心」「奉仕の心」を育む。</p>
<p>日々の 活動</p>	<p>* 瞑黙…授業前後と終礼時、集合時などに行う。「平素より自制する精神力を小さなことによってよく養い、大事における自分を抑制する勇気と力を備えるため。」(かつての生徒心得より) * 祈り…終礼時に行う。(内容は各学年により異なる)</p>
<p>カトリック 研究会</p>	<p>中1～高Ⅲまでの希望者が、毎週金曜日の放課後に集まり、聖書のわかちあいなどを行う。また、学園祭では、ミサの準備、進行を行う。その他、年に数回、錬成会(カトリック研修センターで一泊し、皆で祈りわかちあう。)や、キリスト教ゆかりの地への研修旅行などを行う。</p>

☆ボランティア活動

ねらい	カトリック教育の一環として、本校の創立が多くの人に支えられてなされたという歴史を踏まえ、共に支え合うことを目指す。
推進体制	各クラスのNDA (Notre Dame Action) 委員や係、NDA委員会参与や各学年一名のカトリック教育研究部会担当者などを中心として、行事やLHR (中学はMJプログラムの一環) を通して行っていく。 *MJ: 創立者マザー・ジュリーの名に基づく本校の総合学習名

☆NDA委員会を通じた年間の取り組み

学園祭バザー、ベルマーク・プルタブ・インクカートリッジ・ペットボトルキャップの回収、チャイルドファンドジャパン (フィリピンの里子支援)、登校路清掃、姉妹校への物資援助、あしなが学生募金、口と足で描く芸術家協会への協力、八幡学園訪問、被災地支援のための募金や物資援助など

今年度も、各学年や委員会などでさまざまな取り組みが行われています。以下に、生徒の感想も含めて、今学期の活動の一部をご紹介します。

1学期の活動

◎5月1日～31日 聖母マリアへの献花 (中学生)

カトリック教会では、伝統として、毎年5月を救い主の母である聖母マリアを讃える「聖母月」として、大切にしています。

本校では、毎年、始業前と下校時に、放送部の生徒たちが聖母賛歌を校内放送で流し、中学生各学年が輪番で校内の聖母像にお花を献げています。今年度も中1が聖堂、中2が職員室前、中3が中学昇降口前の聖母像に各自が聖母を思い、選んで持参したお花を献げ、共に聖母マリアのご加護を願い、「アヴェ・マリア」の祈りを唱えました。

◎5月6日 創立者聖ジュリーの日 (全校生徒)

テーマ: 「恵み～置かれた場所で、咲く～」



昨年は、創立者聖ジュリー・ビリヤール (1751～1816) が亡くなり 200 年という記念の年でありました。それに合わせ、私たちノートルダム清心の母であるマザー・ジュリーがフランス革命の動乱期に、特に貧しい子どもたちや女性に対して向けた愛を思い起こせるよう、高校 I 年生の係生徒が、他の学年の係生徒と相談し合いながら、「恵み」というテーマを考えました。また、副題には、昨年暮れに神に召された前理事長 Sr.渡邊和子が、その生涯にわたって大切に慈しんできた言葉も添えました。

私たちは、日々、創造主や自然、あるいはまわりの人たちからの豊かな「恵み」に包まれて過ごし、他方で、周囲の人たちに多くの「恵み」をもたらしている存在でもあります。それらをより大きく分かち合い、国内や世界で頻発する、悲しむべき事故や災害、事件やテロなどで心身共に傷ついている人たちに寄り添い、自分たちにできることを模索することを願いとして、ミサやボランティア活動に取り組みました。

この日は土曜日ということで、世界平和記念聖堂には、多くの保護者の皆様もいらしてください感謝申し上げます。こうした行事や活動を契機として、保護者の皆様にも、カトリックにかかわる実践や学習に一層の関心をお寄せ下さるようお願い申し上げます。

《今年度の取り組み》

◇中1・高Ⅲ：世界平和記念聖堂にてミサと講演、聖堂見学（中学1年生のみ）

※世界平和記念聖堂は、耐震補強工事中で通行止めの箇所が多数ありますが、来堂をご希望の皆様はご訪問できます。但し、入堂できない日もあります。

◇中2～高Ⅰ：講堂にてミサ、その後、各学年でのボランティア活動

（雑巾製作、校内外での清掃活動、その他）

◇高Ⅱ：観音町教会にてミサおよび清掃奉仕（観音町教会および平和大通り）

◇全校：ジンバブエおよびシリアへの支援物資集めと送料のための募金



ミサ

- ・「許す心を持ちなさい。」という言葉が印象に残りました。許すということは難しく、なかなかできることではないと思うからです。しかし、私も完全な人間ではないので、相手に何かを求めるのではなく、まずは、自分が自分の気持ちを穏やかにして、広く深い心で過ごしていくことが大切だと思いました。（中1）
- ・神父様の話で、弱い立場の人をどうやって助けるかということを考えて。強い者が独占するのではなく、強いからこそ、弱い者のことを考えることが大切だと思った。（中2）
- ・神父様の「いじめは、その人の心を、そして生きる力を殺している。」という言葉が印象に残りました。生きる力を殺す、とても残酷なものだと改めて強く感じました。（中3）
- ・人の命の尊さを改めて考えることができました。今日、世界は大きく変化しています。明日何が起こるかかわからない日々をどう大事に、人と助け合っていけるかが大切なのではと思いました。（高Ⅰ）
- ・「自分のしてもらいたいことを人にもしなさい。」という言葉は今までに何度も聞いたことがあったけれども、この言葉が「自分を憎む人に親切にしなさい。」という言葉につながることを聞き、自分では考えたことがなかったので、とても驚きました。（高Ⅱ）
- ・自分の現状を悲観するのではなく、まわりに目を向け他者を思う心を持つことは、どんな場合でも当てはまることだと思いました。（高Ⅲ）

◎6月10日・7月11日 献血推進ボランティア



「保健の授業で、献血について学んだ多数の清心生（高校生）が、献血に協力してくれています。」というお知らせを献血ルーム「ピース」の方からいただいたことがきっかけで、昨年度より本校で導入・実施される運びとなった自主活動です。

この活動は、献血の大切さと身近に短時間でできるボランティアであることを知っていただき、より多くの方に協力していただけるようにするために実施されています。献血をしたことのある生徒だけでなく、年齢や体調などの理由により献血が難しい生徒も一緒に、

街頭で呼びかけを行いました。呼びかけによって、通行される方が関心を寄せられ、実際

に献血ルームに足を運んでくださる姿を目にし、改めてその大切さを実感しました。

「ピース」担当者の方のお話では、高校生がこのように街頭で献血をして戴くように声をかける活動は全国的にも珍しく、広島県は先進的な自治体であるということです。とりわけ、崇徳高校と本校の取り組みがその先駆けを為し、ご関係の皆様も期待を寄せていらっしゃる由、お話をいただきました。継続的に、来学期以後も実施していきたいと考えています。献血ルームのお近くにいらっしゃる事があれば、ぜひご協力をお願いいたします。

◎偶数月 JR西広島駅構内清掃活動

いつもお世話になっているJR西広島駅構内の清掃活動を、昨年度から、二ヶ月に一回行わせていただいています。今学期は、高校NDA委員会の生徒で行いましたが、二学期からは全校に呼びかけ、有志生徒で実施していく予定にしております。



夏休み中の活動

○7月27日(木)、神奈川県藤沢市から、中学生・高校生が来広されます！

夏季休暇がはじまって間もなく、カトリック藤沢教会から、中学・高校生の皆さんが広島を訪問されます。本校の有志生徒と共に、広島平和記念公園・平和記念資料館を見学し、その後、カトリック三篠教会にて、平和や核兵器について意見交換したいという計画を進めていらっしゃいます。本校でも、この広島訪問が意義深いものとなるようにお手伝いをさせていただき所存です。暑い盛りではありますが、ささやかながらも充実した出会いとなりますようお祈りください。

○カトリック広島司教区 2017平和行事プログラム *事前申し込みは不要です。

今年も、例年行っている「聖堂案内ボランティア」に加え、昨年を引き続き若者が主体となり平和を考えていく企画を本校の生徒が担当します。その他、被爆証言や平和のための祈りの集い、子どものためのプログラムも準備されています。この夏も、ご一緒に平和への想いを深めていけたらと思っています。詳細は各学年の掲示板を通して、生徒の皆さんにお伝えしています。{8月5日(土)の活動に関しましては、夏季休暇に入りましても、参加希望を受けつけます。志ある生徒の皆さんは、西川までお声をおかけください。}

《ノートルダム清心中・高等学校担当のプログラム》

① 8月 5日(土)

「ラウダート・シ(私の主よ、あなたはたたえられますように)〜ともに暮らす地球で〜」

全体会④青年プログラム(エリザベト音楽大学にて) 15:00~16:30

② 8月 6日(日)「世界平和記念聖堂」案内活動(世界平和記念聖堂にて)

10:30~12:30

○8月17日(木)~21日(月) 東日本大震災被災地支援ボランティア(高I・II有志)

今年度も、カトリック教会支援団体であるカリタスジャパンを通して、11名の生徒がボランティア活動をさせていただきます。大船渡ベース(岩手県)に滞在し、現地スタッフの指示に基づいて活動に参加する予定です。活動の充実をどうぞお祈りください。

*当該通信は、次回は、本年12月の発行とさせていただきます。
(カトリック教育研究部会)